

2025年度都道府県主要農作物（米・麦・大豆等）種子生産に関するアンケート

		19. 主要農作物の種子生産を継続する重要性についての意見	20. 今起きている米価格の高騰と米不足に関する対策・課題・感想など
1	北海道	—	全国的な品薄を背景に、米の小売価格が高い水準で推移する中、北海道では、消費者に対し米に関する情報発信をするほか、令和7年産米「生産の目安」の追加設定や、低コスト・省力化技術の導入などお米の安定生産・安定供給に向けた取組を進めております。
2	青森県	県主要農作物の優良種子を安定的に供給する体制を維持することが、県産米の生産力維持・強化に繋がるため、主要農作物等の種子生産を継続することは重要である。	稲作農家の所得が確保できるよう、引き続き県産米の需要に応じた生産数量目標を関係機関・団体と連携して設定し、生産振興を図っていくこととしている。
3	岩手県	特になし	生産者、消費者視点での実効性のある対策が必要
4	宮城県	主要農作物の安定供給と品質の確保を図るため重要である。	今般の米価上昇については、米生産農家にとってはようやく再生産可能な価格になった一方で、米価の高止まりによる消費者の米離れも懸念されるところである。 本県としては、今後の米価の動向を注視するとともに、米の主産県として消費者の皆様に必要な量を供給できるよう、関係機関と連携し、需要に応じた米づくりを推進していく。
5	秋田県	高品質な主要農作物の生産に欠かせない優良な種子の確保及び安定的な供給は、本県農業の持続的な発展に寄与する	
6	山形県	本県の農業の更なる発展を図るうえで、主要農作物の優良な種子の低廉かつ安定的な供給が不可欠である。	令和7年産「生産の目安」を6年ぶりに増産することとした。 (収穫量：326,300t,面積：54,113ha)
7	福島県	農業振興上、最も基本的で重要な事項と考えている。	今後の国の施策により、安定した米価となることを望む。
8	茨城県	主要農作物の生産振興を図る上で種子の安定供給は必要不可欠であり、非常に重要。	現在の米価格高騰と不足は、夏季の高温等による収量低下、担い手の減少、流通構造の非効率等が複合的に影響して生じていると考えられる。政府は備蓄米の放出や輸入緩和、生産支援などの対策を講じているが、消費者への効果は限定的であり、根本的な課題解決には至っていない。今後は、スマート農業や担い手育成、流通改革といった中長期的な取り組みを強化し、食料安全保障の再構築が求められる。
9	栃木県	本県の農作物の競争力強化に資する奨励品種の優良な種苗の安定的な供給の促進を図り、本県の農業の持続的な発展に寄与する。	—
10	群馬県	—	—
11	埼玉県	県内農業者の経営安定及び県民の安全安心な食料確保のため、県の責務として種子生産を継続していくことは重要である。	米の生産量の目安である「生産の目安」を策定する際に、在庫量の減少を勘案し、令和7年産の生産量については、6年産の生産実績よりも7,021トン多い、142,221トンの目標値を県内に示した。 県として、県民に県産米を安定して供給できるように、イネカメムシや高温対策に取り組み、米農家をしっかり支援していく。

2025年度都道府県主要農作物（米・麦・大豆等）種子生産に関するアンケート

		19. 主要農作物の種子生産を継続する重要性についての意見	20. 今起きている米価格の高騰と米不足に関する対策・課題・感想など
12	千葉県	主要農作物等（稲、麦、大豆、落花生）の優良種子を供給することは、本県の生産力維持・強化につながるため。	米の高騰には様々な要因が関係しているため、一概に対策や課題を述べることは難しい。但し、米の生産者が販売した価格よりも店頭価格が大きく上昇しすぎており、今後の生産体制への影響が危惧される。
13	東京都	意見なし	意見なし
14	神奈川県		本県は、園芸作物主体の農業生産を行っている。コメの生産量はこれ以上増やすことは困難であり、県農政としてコメ不足に関する対策は特にない。
15	新潟県	米主産県である本県においては、県育成の独自品種も多くある中で、優良種子の生産・供給は新潟米生産の根幹であり、今後も、県が主体となって種子の安定した生産・供給体制を維持する必要がある	国が5月19日に公表した米販売価格は、一旦は下落したものの、再度上昇に転じており、販売価格の高騰による買い控えなど、米の需要量の減少につながることを懸念しており、新潟県としては、米の流通や価格の動向を注視しているところ
16	富山県		
17	石川県		
18	福井県	自給率を上げるためには優良種子を安定して供給することが不可欠であるため、種子の需要の減少や後継者不足が大きな問題である。	需要に応じた米の生産を推進するため、県農業再生協議会が生産数量の目安を提示している。
19	山梨県	優良な種子を安定的に生産・供給し、本県の農業者の経営安定を図るため重要。	需要に応じた生産を推進するため、ＪＡなどと連携し、品質が高い米の生産に向けて、農業者に対する技術指導など支援を行うとともに、生産力の強化に向けた取り組みとして、生産基盤の再編や、高温に強く、食味が良い品種の更なる普及を図り、高品質でおいしい米の早期産地化を進めていく。
20	長野県		
21	岐阜県	毎日の食生活に密接に関連する、安全・安心な主要農作物の安定的な供給や本県農業の持続的な発展のために重要な取り組みである。	
22	静岡県	なし	県内の状況について国と情報を共有する。 政府による適切な対応を期待する。
23	愛知県	主要農作物の優良な種子を安定的な供給を図ることによって、主要農作物の品質の確保及び安定的な生産に寄与し、消費者に安全で安心できる食糧を安定的に供給するため、重要と考える。	需要に応じた米生産ができるよう、主要農作物の優良な種子の安定的な供給を図る。
24	三重県	本県の主要農作物の品質確保と安定生産を通じ、消費者への安全・安心な食料供給に寄与するためには重要である。	コメ価格が上昇しているため種子生産者が主食米生産に切り替えないか懸念している。
25	滋賀県		
26	京都府	府内全域へ高品質な種子を安定的に供給するためには、府が責任をもって採種事業を行う必要があると認識している。	主食である米の価格の安定化は、府民の暮らしだけでなく、農業者にとっても、将来にわたって持続的な米生産につながる大変重要な問題と認識している。
27	大阪府	種子の安定供給および品質確保のためには、種子生産を継続することは重要と考える。	なし

2025年度都道府県主要農作物（米・麦・大豆等）種子生産に関するアンケート

		19. 主要農作物の種子生産を継続する重要性についての意見	20. 今起きている米価格の高騰と米不足に関する対策・課題・感想など
28	兵庫県	主要農作物の生産力を維持・増進していくためには、優良な種子の生産と安定供給が不可欠であると考ええる。	米の持続的な安定供給ができるよう、品質や収量を保つことができる高温耐性品種への転換や普及・拡大を推進している。
29	奈良県	県の責務として主要農作物の種子生産は関係機関と連携し継続して行う必要がある。	昨年度は、登熟時期の高温により水稻の1等米比率が著しく低下したことから、高温耐性品種の調査及び選定、並びに高品質安定生産を図るための技術普及を進めていく。
30	和歌山県	県内の生産者に優良な水稻種子を供給するため、重要である。	米の価格については、民間の取引の結果であり、県では対応できない
31	鳥取県	—	米価格については生産者・消費者が互いに納得するフェアプライスの形成が重要と考える。米不足への対応については、県再生協において令和7年産米の主食用米作付面積を前年比300ha増やす目標を設定するとともに、県新規事業の創設により作付拡大を推進する。
32	島根県	①県内で種子を生産することは、安定的な水稻生産に寄与する。 外部からの種子に頼らず、自給率を高めることで、災害等による供給不安に備えることが可能。 また、県独自の品種を維持・発展させるためには、県内での種子生産が不可欠。 ②自主的な種子生産体制を構築することで、地域独自の農業政策を推進することが可能。	米価の回復については、農家の収入が増加することで経営が安定し、米生産の意欲が向上することや、農業従事者の確保・維持に貢献すると考える。 一方、主食用米の作付が需要量を超えて増加すると、米価下落が考えられるため、需要に応じた生産が必要となる。 また、米価の高騰の影響として飼料用米や酒米といった非主食用米の作付面積の減少にも影響があるため、適正水準である米価が求められる。 県としては、主食用米だけでなく、水田園芸や戦略作物等を組み合わせた体制構築を進める。
33	岡山県	基幹的な作物である稲、麦類及び大豆の生産性の向上及び品質の改善を図るため、優良な種子生産及び普及について県及び関係機関等が一体となって取り組む必要があるため。	これまでの米価は生産コストを賄えないような水準だったとされ、産地や生産者側から見ると現在の米価高騰は決して高いとはとらえられていない。今起きている米価高騰を契機に、適正価格や、今後の水田農業について考える機会につながればと思います。
34	広島県	食料安全保障の点から、主要農作物の稲、麦、大豆の品質を確保し、安定的に供給するためにも種子生産を継続する必要がある。	本県では条件不利な中山間地域が農地の大部分を占め、生産者の高齢化に伴い、主食用米作付面積及び生産量の減少が続いている。米不足解消のためには、本県同様条件不利な農地に対する補助政策により農地及び生産量の減少を緩やかにし、東日本を中心とした生産余力のある県においては、生産の目安等による積極的な増産が行われる必要があると考える。
35	山口県	優良な種子の安定供給は、食料の安定供給及び農産物の品質の確保に不可欠。	主食用米の価格高騰に伴い、飼料用米や加工用米などから主食用米への作付転換が実施されている。今後、主食用米の価格が落ち着いたあと、再び飼料用米や加工用米の生産に取り組もうとした場合、生産者と実需者との間の円滑な再契約が懸案。
36	徳島県	主要農作物等の優良な種子の安定的な確保は、本県の主要農作物等に係る農業の振興及び関連産業の発展並びに文化の継承に寄与するものであり、非常に重要	



2025年度都道府県主要農作物（米・麦・大豆等）種子生産に関するアンケート

		19. 主要農作物の種子生産を継続する重要性についての意見	20. 今起きている米価格の高騰と米不足に関する対策・課題・感想など
37	香川県	主要農作物である稲、麦類、大豆の種子について、従来と同水準の品質及び価格で安定的に供給できる体制を維持することは重要であり、「香川県主要農作物採種事業実施要領」を改正し、種子の生産と供給体制を堅持している。	一般生産の作付拡大に対応できるよう、種子協会による水稻種子もみの買入価格について、一般生産者の販売価格を踏まえて算出することとしており、種子生産者の手取りの増加や種子生産意欲の向上につなげ、確実な種子生産に努めている
38	愛媛県	—	—
39	高知県		長期的な種子需給の見通しが不透明。
40	福岡県	本県の基幹的な作物である稲、麦類及び大豆の生産振興を図るうえで種子の安定生産は重要である。そのため、福岡県農林水産業・農山漁村振興条例及び福岡県稲、麦類及び大豆の種子の安定供給に関する基本要綱に基づき、県が優良種子の生産と安定供給に取り組んでいる。	本県産の主食用米は、ほとんどが県内消費であるため、県民に安定的に県産米を提供していくためには、需要に応じた生産を継続し、生産体制を維持することが必要。そのため、県や農業関係団体で構成する福岡県水田農業推進協議会において、令和7年産主食用米の作付計画（目安）が前年より増加する計画を策定。
41	佐賀県	優良な種子を現在の価格で生産者に供給するためには、都道府県やJA等の関係機関一体となった種子生産が重要と考えている。	現在の情勢等により、水稻種子の需要が増加しても対応できるよう、引き続き、需要に応じた種子の生産を図っていく。
42	長崎県		
43	熊本県	主要農作物の品質確保のためには、本来の品種特性を有し生育や品質を均一に保つことができる種子を使用することが必要不可欠であることから、将来にわたり優良種子の安定供給が維持されるよう、採種団体等と連携した種子生産体制の維持が必要。	主食用米の需給バランスと米価の適正化のため需要に応じた生産を進める。
44	大分県	奨励品種の優良種子を確保することは、生産振興や食料供給の面で重要である。	本年の供給時に、一部品種で種子確保量を大幅に超える需要があった。作付の見通しが不明であり、今後の種子生産計画の作成に苦労している。
45	宮崎県	将来にわたり優良種子の安定供給が維持されるよう、地域と連携しながら、県や関係機関が一体となって主要農作物の種子生産に取り組むことが重要	産地の高齢化や資材・機材価格等の高騰による生産原価の上昇等により、持続可能な種子生産体制が維持困難となりつつあるなかで、米価高騰に伴うR7年産主食用米生産意向の増加により、種子の当用需要が急激に増加したことから、県内外から種子を集め可能な限り対応してきた。 R8年は種用種子の生産者からは、主食用米取引価格の急激な上昇をうけ、従来、数年間の平均により年次変動を緩和してきた種子販売価格の算定方法を変更するよう求める意見も多く、情勢を見定めながら検討を進めている。
46	鹿児島県	主要農作物の優良な種苗の将来にわたる安定的な供給を図るために重要	主食用米の生産量が「生産の目安」に届いていない状況であることから、需要に応じた生産を推進するため、高温障害に対応した多収品種の作付推進や種子の生産等に取り組んでいる。
47	沖縄県	特に意見なし	特に意見なし